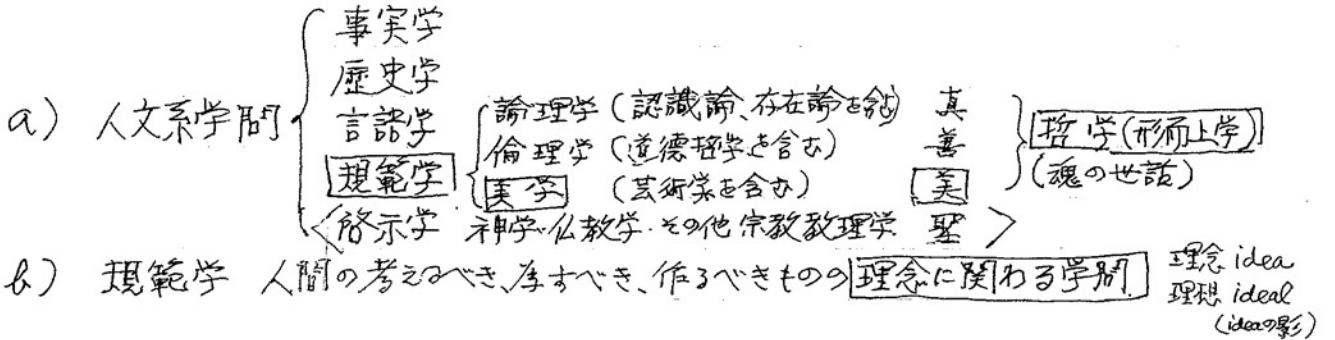


「美学」速講30分

1. 人文系学問における美学の位置



2. 美の現前の多様性と理性による美の深化または昇華

- c) 搖籃の ルール、子守唄、幼稚園の童謡、絵本遊戯、小学校 唱歌、合奏、読書、中学校そして高校 思春期の芸術作品への個人的傾倒
価値理念 (真善美) のあこがれ、Keyword 墨絵の前に立ちどまりたい幻想、その前で凝視する青少年の断絶。
- d) 感覚、趣味、嗜好を超えての芸術美への敬仰 理性で発見する。
- e) 深み、高み 沈潜と悦遊

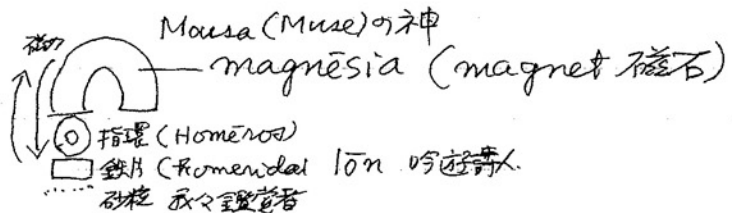
Pablo Picasso の人面図



3. 行為の美しさ、人柄の美しさ

- f) 美しい行為は物質的汚さの中に輝くことがある。その例、ラザール (George Lazzar) の語った藤田嗣治のモジリアーニ (Amedeo Modigliani) への態度。
- g) 美という字の本末の意味 善も義も美も主もつ 主は羊 犠牲の獣
論語 子貢が 告朔之餼羊を構み その礼を止めようと孔子に進言すると 彼は 羊を惜むか否かは 禮(礼)を惜むと言って拒む。
- h) 何らか犠牲の大有るとき、美は現われる。
- i) 里仁為美 仁に里れば美も存す。

4. Platon の教え



5. 実践美学 世界戦場化ではなく世界美化。緑と水と土でみたこと。

あこがれと涙とほほえみと。

参考文献 今道友信 『美の位相と芸術』 『美の存在と生成』 『東洋の美学』 ホトキスト 美について。